

昭和十五年八月二十六日

經濟週報

(第五十三號)

秘

內閣情報部



本冊子は内閣情報部第三課經濟掛に於て各種情報、調査資料、新聞、雜誌等を査閲  
検討した結果を取纏め、經濟戰宣傳上の參考に供せんとするものである。(編者識)

## 目次

動向	一
國內關係	一
日本重工業の再編成	四
貿易新體制と輸出業	四
新體制下の商業問題	八
新體制への切替と經濟界への壓力	九
第二四半期資金調整狀況	一二
ス・フの輸出減退著し	一三
經濟問題新聞論調	一三
東亞關係	一四
天津の現銀問題	一四
海外關係	一四
世界戰爭に關する國際決済銀行の報告	一五

獨伊樞軸金本位を識す	二八
戦時イタリーの石油政策	二九
自由磅の絶滅	三三
衰頹甚しきイギリスの經濟力	三六
最近におけるイギリスの戦争金融狀況	三九
米國の戦時原料資源政策	四一
工業纖維類の世界生産狀態	四二
週間經濟重要事項	四八

動 向

經濟雜誌論調

エコノミスト(八・二六)

今日新經濟倫理が問題になり、奉仕或ひは公益優先を以て經濟行動の目標とし、經濟活動を律する規範たらしむべしと主張される。然し平凡人である限り、公利と私利の選擇を個人に委しておけば必ず私利に赴くであらう。倫理はその際の選擇方向を是正する鍵となるのであるが、各人が鍵として取り上げなければ何にもならぬのであるから、好むと好まざるとに拘らず鍵として取上げねばならぬやうにする必要がある。それは廣義の組織の力である。資本主義經濟で統制の作用をなした金本位制の如く人々が全く感じない強制を受けた組織もあれば、經濟警察の如く強く感ずる組織もある。従來の戦時統制策は皆組織であつたが、不完全なため奉仕第一、公益優先といふ理論原則を實踐原則たらしめるにたへなかつたのである。今日愈々この組織を必要とする時、重點主義に基づく國防國家經濟の發展は、犠牲の不均衡を來して奉仕經濟體制の困難を加重せしめる可能性がある。従つてその解決は新體制へ與へられた重大課題で、具體的研究をすることが急務である。



「戦時に於ける贅澤とは何か」七・七禁止令の經濟的影響は以外に大きく、下手をすると、部分的にもせよ、金融恐慌にまで發展する可能性がある。此の點當局者の深甚なる注意を要求したく思ふ。

併しこゝでは特に、機業家乃至問屋の浮沈ではなく、禁止の遣り方と、精動運動に就て考へてみよう。抑、戦時に於ては軍需調達のために凡ゆる生産力を動員し、集中する必要がある。不急不要物資の生産を抑壓し、國民の身廻品の如きは既存の所有物資を極度に利用し新規の生産と購買を差し控へねばならぬ。此所に於て贅澤の概念は一變する。即ち、假へ國防色のス・フであつても無闇に團服や制服を新調するのは贅澤である。反對に、假へ金、銀絲が入つてゐようと、着古されて箆笥の底にある物を出して着續け、乃至はこれで「もんぺ」でも作つて、成るべく新調を差控へることが國家の戦時財政經濟に協力する所以である。何が贅澤であるかは時と場所とに依り異なるのであつて、平時の觀念を以て直ちに戦時を律せんとすることは不當である。勿論精動の主觀的動機に就ては記者も雙手を擧げて賛成するものである。併し、華美なる服飾の製造禁止は好いが、既に生産されており、輸出も出来ないものは國內で使ふことを妨げるべきではない。

兎も角、この問題は、政府も精動も大いに反省してほしい。

## 新聞論調

米穀問題に關し、米の集荷配給統制規則は一進歩ではあるが、集荷配給兩面の各團體の自由主義的意欲を蟬脱せねばならぬ。(朝日、日日) 又既存團體の整理統合こそ新體制に即應した時代の要請である。(日日) 中小企業問題に關しては、弱小企業家は合同や轉業さへも出來ぬ者が多數なのだから、對策は現實的な着想と施設とが必要で、(中外) 中小工業はその生産總額に比して工場数が過多なのであるから、大資本に吸収せねばならぬ。(國民) 國土計畫については、大規模な案では實現が疑問だから、實行可能な案を樹てて、その企畫と運用とを效果的ならしめねばならぬ。(中外) 又豫算編成前に國土計畫の具體化を圖り、その方向だけでも定めて、豫算査定的基础とすべきである。(讀賣) 更に貿易問題については、第三國貿易は又逆轉したが、商機を掴み得るやう機敏な對策を必要とする。(中外) 併し第三國向輸出に依存することは世界の情勢から見て危険だから、速かに共榮經濟圏の建設に向つて邁進せねばならぬ。(報知)

## 國內關係

四

### △日本重工業の再編成

我國重工業が精密機械・兵器の多量生産を頂點的狙ひとする鑛業、金屬材料工業、機械工業、化學工業の自主綜合的確立を目指して進んでゐるが、どの程度にこれが實現されてゐるか。先づ精密度は、普通機械を大難把に機種別に示すと、理化學、特殊工作、兵器(銃砲)、普通工作、輸送、電氣、化學、農業用諸機械の順序となるが、我國機械工業の精度は普通工作機までのもので、それ以上はまだ多少手に負へぬ所がある。我國重工業の再編成はこの精度をあげる施策を當面の課題とする。

次は多量生産であるが、精度の點に比して一歩も二歩も進んでゐる。中小メーカーの夥多は重工業特に機械工業に多いが、これは必ずしも多量生産とは矛盾しない。第三は自主獨立性であるが、これは輸入様式の消化時代から、わが國独自の様式を創造する時期に入りつゝある。即ち九〇%以上外國に依存した工作機械は八〇%までの自給をなし逐げ、ガソリン、屑鐵も自給率を擴大してゐる。第四は綜合性だが、鑛業——金屬工業——機械工業、鑛業——化學工業——化學機械工業といふやうに綜合的、有機的に見た場合、その點は不十分で、機械工業、化學工業に比して金屬材料工業や化學機械工業が後れてゐる。

斯くの如くわが重工業は大飛躍の前夜にあるが、問題はその導き方如何である。重工業中心の工業再編成は一つの重點主義であり、重工業内部における優秀メーカー中心主義は更にその發展である。併しこの優秀メーカー中心主義で能事終れりとするのは淺薄な觀方である。工業再編成の中の重工業中心主義は、重工業以外の工業の重工業轉換を來し、優秀メーカー中心主義は重工業組成分子の部外驅逐か没落かを惹起する場合が多い。併しこれら弱小メーカーは決して贅肉ではなく指導と保護如何では短時日の中に中心メーカーとして尊重される程度になり得るものである。重點主義は絶對的に過剰メーカーを淘汰するのではなく、資材、勞力等の關係から一時的相對的に淘汰するのだから、當然に中小工業者對策の絶對的需要が生れて來る。優秀メーカーと雖も現在比較的優秀であるといふだけで、等しく優秀メーカーでも極めて優秀なものと同程度でもないものがあるのだから、重點主義の實行に際しては、技術的進歩や弱小メーカー對策等のために次の如き方策が併行的に實施されなければならない。即ち

第一に製品分野の劃定である。工業生産は量と質、特に質に考慮を拂はねばならぬ場合が多く、多量生産は比較的容易だが、一定段階の精度にまで達せしむるには相當の時間と訓練とが必要である。この質的進歩への捷徑として、同一製品のみを繰返し生産する専門製作がある。優秀メーカーもその得手によつて製品分野を劃定することは技術向上に是非必要で、化學工業や鑛業は本からこれを行つてゐるので、特に金屬材料工業と機械器具工業について強調するべきである。分野劃定法は飛行機は何會社、自

五

六  
動車は何会社といふのではなく、飛行機では爆撃機は何会社、偵察機は何處、自動車も小型は何会社、中型は何会社、軍用は何處、工作機械も旋盤は何處、フライス盤は何会社といふ風にすべきで、こゝに日本重工業の技術的自主性の萌芽がある。第二は規格の制限と統一で、専門製作を更に専門化するものである。即ち同じ旋盤でも四尺、八尺、十尺、二十尺と規格を制限し、それ以外の物を作らせぬ様にし、且つその部品の規格を各メーカーを通じて統一すれば精度は自然に上つて来る。

第三は技術の公開である。その方法も作業中の工場を公開することや、技術會議を開いて作業上のデロタを詳細に發表し合ふ等、業種別によつて色々方法がある。技術會議は類似製品分野に屬するメーカーの責任者を以て命令によつて會議を開かせ、技術上の共同討議、研究をさせる。この會議で實效の期待出来るのは化學工業や金属材料工業に多く機械工業には少い。蓋し機械工業では全工場員の進歩を俟つて始めて技術的に進歩するからである。第四には合併又は技術委任である。責任技術者の研究の結果を開けば直ちに利用出来る化學工業と違ひ、機械工業の如く工場全體を優秀メーカーが指導するには會社の合併か、或ひは優秀メーカーが然らざるものを受任經營すればよい。而して技術委任の現實的形態は受任會社の技術者達が委任工場に乗込んで技術上の采配を百%に振ること、委任工場は結局下請として働くやうになるのが多いのであらう。

第五は下請の專屬化である。以上の四對策は比較的優秀メーカーの技術向上策だが、第五策は重點主義により没落すべき弱小メーカー對策である。中小工業對策の要點はその本質を生かしつゝ、近代工業の中に溶け込ませること、それにはこの專屬下請が最も効果的である。その方法は二つあり、一は優秀メーカーの分工場的位置に立つこと。他の一は相集つて組合工場を創設し、自ら相當規模の工場にまで發展し、專屬の下請とは稍、異なる地方もメーカーとなることであるが、この際技術的にも人格的にも全組合員に號令し得る統率者を絕對に必要とする。

以上の諸對策は重點主義に併行して行はねばならぬが、之と共に現在の有力工場の地方移轉と將來建設さるべき有力工場の地方分散は中小工場や農村工場の親工場となるにも組合工場を指導するためにも絶對必要で、工業の新體制は計畫的工業立地と不可分である。尤も工場の移轉はその比較的自由的な機械工業に關してであつて、化學工業、鑛業等は移轉も分散も不自由である。

以上の諸對策を行ふには次の三段階が考へられる。即ち第一は業種別委員會の結成で、その構成は當該業種關係官吏、代表的メーカーの經營責任者、有能な新聞雜誌記者、學識經驗深きもの等とし、右委員會は決議機關として、右決議は商工大臣が最後の決定をなし、大臣の命令として執行する。第二は經營責任者の身分變更と自由任免で、經營責任者の身分を官吏待遇にし、給與も官給とし、その資金は當該會社から從來の給與を支給させたらよい。その任免も商工大臣又は企畫院總裁が自由に行ひ得ることとする。かくて業界の代表的業者の經營責任者は産業奉還と身分奉還とを行ふが、奉還後も當該業者

の業績及び利益配當には成るべく手を加へず株主を安心させるやうにする。第三は責任生産高の割當で、委員会で割當てた生産量は責任を以て遂行することとし、成績如何によつて經營責任者の地位を剝奪し、或ひは生産勳章を交付する。

以上を要するに新機構は代表的業者の經營責任者をして自治的に當該業種の新體制を確立せしめんとするものであるが、資本の絆から脱するため、經營責任者を官吏待遇とするので、若し責任者が大株主である場合には、退いて純然たる資本家となるか、或ひは經營責任者として留るかは自由裁量に任せらる。かくて經營と資本とは明確に分離するのであるが、高度國防國家を荷ふべき重工業の體制は、遙かに高き骨組と廣き基礎とを必要とする。純粹理化學の一層の進歩と技術科學(生産工學)の一段の前進が必要で、科學に裏打された常に新鋭且つ精確な生産技術、その技術を思ふ存分活用する經營、その經營を百%國家に捧げる經營精神、この三位一體が眞の重工業の新體制である。(エコノミスト 八・二六、小峰柳多)

#### △貿易新體制と輸出業

對英、米貿易は輸出しても、その外貨がそのまゝ、わが必要物資に轉換されぬ危険が濃厚で、今日では國家目的に合はない。輸入も輸出も一定の計畫性を持たずにはバーター制を以て外にない。政府立案の輸出品買取會社はこの目的のために設けられた統制機關であつて、新貿易體制もこの會社を中心とし

て、計畫經濟遂行に當るべき権限、責務を與へられて行くであらう。かくて輸出組合、輸出品買取會社、輸出品原料會社、工業組合等は互ひに密接に連絡して國策遂行に協力せねばならぬ。

併し輸出品買取會社は統制機關であつて、會社自體は直接輸出しないのを建前とするから、急激な變動摩擦を避けると同時に、業者の經驗、手腕、創意等も十分活用出来る譯であるが、輸出業者の地位が舊秩序時代の通りに確保されるか、疑問である。問題は輸出數量統制上の実績主義が適用されるか否か、又適用されてもその價值如何である。對英米依存貿易が止揚された曉、從來の業者の実績は無價値とならう。又新たにバーターを基調に佛印、蘭印を含む大東亞共榮圏の確立された場合、業者は新基準を何に求めんとするのか。

更に計畫輸出體制によつて數量、價格、條件、取引相手等が統制された場合にはそれ程多くの輸出業者を要しない。現に米國向け綿靴下の輸出に關し、從來の割當を廢して指定組合員に代行輸出せしめ、この利益を組合員に按分配當することに改革し、又神戸に設立される輸出ゴム製品買取會社は、海外よりの注文は新會社の手で纏め、製品は製造業者より全部買取るので、輸出行程は會社から業者に譲渡し、輸出業者が個々に輸出すると共に、新會社が直接輸出する場合をも豫想して立案されてゐる。これは今後の動向に多くの示唆を與へてゐる。(エコノミスト 八・二六、中井省三)

#### △新體制下の商業問題

商業の企業合同問題は漸く業者の自發的問題として取上げられて來て、去る七月から待望の商業小組合制度が活用されることになつたが、その成立形態には二種ある。即ち一は組合員の個性を生かし、小組合が共同仕入、保管、運搬等をして之を組合員の利用に供するもので、他の一は小組合が中心となつて仕入、販賣等一貫的經營をなすものである。而してこの後者の經營合同こそ新體制下必至の動向で、現在その形式は商業組合によるもの、會社によるもの、及び任意組織によるもの三つに大別出来る。

商業組合による企業合同の實例は福井縣小濱豆腐商業組合があり、この町の十八名の業者が共同仕入、製造、販賣をなし、組合員の生計には月給及び剩餘金の配當を基本としてゐる。又滋賀縣の自轉車小賣商の企業合同は漸進的方法をとつて各組合員の店はその儘とする一方共同販賣を行ひ、出資に應じて收益を配分してゐる。更に北海道の足寄商業組合はその地區の商組員八十戸全部が地區組合を結成してゐる。即ち同種の營業者を合同させ、生鮮食料品業者六名を一營業所に、荒物雜貨十三名を三營業所に、といふやうに任意の商業小組合の形態をとつて居り、不用の店は住宅倉庫等に當てることになつてゐる。

會社による企業合同の例は八幡濱市の理髮業者で株式會社を設立し、機械、道具等を共同購入し、市内數ヶ所に營業所を、又市外の適當な所にも出張所を設け、月給と配當によつて給與を受ける。

任意組織による合同の實例は、東京市巢鴨の米穀商五名が合同し、一店を共同販賣所に、一店を共同精米所として他は顧客の注文のみに應ずることとして、店主は毎日共販所に出勤することとする。又栃木縣黒磯町の呉服商七名の中五名と、洋品商六名の中一名とが共同して營業所を設立、各店主、店員ともに組合の従業員となり、月給制度による。

右の如く商業者の企業合同は各地方區々の形態をとつてゐるが何れも小規模のものである。併し東京府一圓の米穀商の合同案は頗る示唆に富む。即ち合同地區の範圍を市内は行政區單位に整理し、郡部は現在の商組地區單位を活用する。經營主體は商業組合をその儘活用する。共精共販の施設は先づ配給區劃を整理し、一區内平均二十箇所、全府下九百箇所の配給所を設けて、その配給所所屬の消費者を確定し、その消費量を規正する。又實績の確證査定をなし、共同配給所は一般家庭に對する一日配給量六十俵につき一箇所を設ける。共同精米所は組合に平均二箇所を理想とする。又配給先を限定しその消費人員と種別を登録して之に規正配給をなし、取引は現金を原則とする。現在の設備資材は全部組合に買収し、人員も一旦は全部收容する。

以上が東米商聯の案であるが、實現すれば非常の利益が齎らされる。併し未だ研究すべき點が多い。即ち第一にこれで生活が安定するか否かで、地方と違つて東京だけに問題がある。第二に餘剩機械や備品什器の賣却だが、精米機の如きが、精米實績を獲得せんとする産組側に流れては配給の混亂を激化す



る。その他失職従業員の處置、店舗、貸賣の整理、能率低下対策、産組及び購組の取扱、政府及び府縣の積極的協力の問題等幾多研究すべき點が多い。右の如く案が具體化すれば各方面に故障が多いが、新體制下の配給機關として企業合同による再生をするより外に途がないとすれば、この矛盾も何とかして打ち越えねばならぬ。この意味で東米商聯案の成行は十分に研究に値するものであらう。(エノノミスト 八・二六)

△新體制への切替と經濟界への壓力

新體制に對する經濟界—少くとも心臓部の考ふる期待は、冷却なる批評的立場よりもむしろ當事者としての遂行的熱意に傾きつゝある。いふ迄もなく此際新體制の成否如何は、國家全體の死活問題ともなることが、明確に認識されつゝあり、それだけに、今日の經濟界は、他面、新體制から豫想される壓力に對しても覺悟してゐる。

たゞ、此際政治的新體制への切替が經濟界に與ふる壓力を不可避としても、それは、出来るだけ犠牲を少くして、新體制そのものの樹立に支障を來さないやうに賢明に對策されねばならぬ。

そこで此際經濟界に加へらるる壓力を、次の四つの側面から考慮してみる。(一)政治的新體制と相應じた經濟的新體制が形の上で先づ拵へられねばならない。(二)企業内部にわたる經理統制、就中利潤並びに資本統制の強化されることが考へられる、併しこのことは經濟界としては、現在の段階まで來れば大

した苦痛ではない。むしろ經濟界を安定せしむるものと見られるのである。(三)外交轉換の可能性が、經濟界の英米依存より自給自足への轉換を急テンポにするだらう。このことは我が經濟界に相當の壓力を加へざるを得ない。(四)中小商工業の整理、並びにこれに伴ふ失業群の出現が豫想される。

現在のところ、經濟界としては此等幾多の壓力が政治的新體制と不可分の關係に於て豫想されるに不拘、曩に述ぶる通り、それ等を忍受し、克服して、新體制への移行を敢へて覺悟してゐる、しかし、それ等經濟的打撃が、彼等の存在を脅かすところまで深刻化するに於ては、自然の勢として、彼等の新體制への期待は、著しく冷却せざるを得ないであらう。何れにしても新體制移行に徒らなる波瀾を起さないやうにせねばならない。(東洋經濟 八・二四)

△第二四半期資金調整狀況

臨時資金調整法施行狀況に關する大藏省發表は、事業設備資金總額は十一億七百二十七萬四千圓で前年同期に比し約一億四千萬圓の増加を示し、總取扱件数は千三百七件を數へるが、不認可、不許可、事業の縮少、取止件数の激増は同法運用の基準が物動計畫に即應して更に強化されたことを如實に物語つてゐるものとして注目される。(八・二二 各紙)

△スプの輸出減退著し

昨秋の歐洲戰勃發以來一時急激に躍進せるス・フ及びス・フ絲輸出は、昨年末を峠として甚しく減退し

た。然らば昨年の輸出躍進が何故に最近に至り一轉悪化したかと云ふに、米國、英印、蘭印等主要仕向國への輸出が何れも減退したからであるが、就中、米國への輸出が激減したからである。それは米國內の生産能力が急激に増加し、ス・フに對する需要は自國內生産に依つて略、賄ひ得る状態となつて來てゐる。従つて今後の對米輸出も大して期待されない状態となつた。他方、香港、シリヤ、埃及等に對するス・フ絲輸出が増加してゐるが、歐洲戰の擴大により今後大した期待はかけ得ない。問題は蘭印方面への我がス・フ輸出の伸力如何である。こゝは恒久的性質を有する新市場であること、及びス・フの觸感がこの地方の住民に適してゐること等の理由により、今後相當伸び得る性質のものがある。只注意すべきことは、當地方に於けるス・フ使用法は結局綿絲、人絹絲と競争纖維の立場にあることで、そこに絶えず掣肘される譯である。その他、磅低下、等の理由より當地方へのス・フ絲輸出も無條件で樂觀は出來ぬ。その上、苛性曹達の減産、二硫化炭素の不足で、我國ス・フ生産減退と、コストの増嵩も確かに輸出に對して一つの不利な條件となつて來た。今後のス・フ輸出は當分樂觀出來ない。(東洋經濟 八・二四)

#### △經濟問題新聞論調

「米穀配給の新體制」 米穀の集荷配給が一元的に統制された事は、極めて妥當な措置であつて、麥類配給統制と共に主要食糧の集荷配給機構は一應新しい體制に固められるに至つた。問題は各團體が舊來のまま、放恣な自由主義的意欲を起動力にしてゐては機構の組立が出来上つても、問題の解決は恐らく永

久に不可能だといふことである。従つて要は全體の集荷、配給の機構が上から組立てられると同時に、農商團體は互に自己の自由主義的な性格を先づ蟬脱し、國家的生産配給計畫に沿つて使命を擔當するといふ工夫が下から進められねばなるまい。それが出来上つて初めて、國全體の新體制に即應する米穀の集荷配給の新體制が確立を見るわけであつて、その曉にこそ今回の配給統制規則が準備的に採りあげてゐる強制買上とか寄託命令の條項が不要になるときであらう。(朝日社説 八・二一)

「過渡的な米穀統制案」 新統制案は既存團體の活用を狙つたらしく、存在價值を疑はれてゐたものさへ活動の分野が與へられた。併し對立抗争する各團體の分野を如何に巧妙に限定しても、それが直ちに集荷配給の眞目的に貢獻するとは言へない。企畫者と實行機關と、更に實行機關が二系統に分立してゐることは新統制制度の弱點である。政治新體制運動と共に既存機關の總花的承認は否定されようとしてゐる。その整理統合こそ時代の要求であるから、道草を食はずにその方へ突進するがよい。(日社説 八・二一)

「新農業體制の方向」 農相は農業こそ公益經濟を理想、根本思想としてゐる旨を説いてゐるが、同時に今日の農業ほど營利主義に徹したものも少い。公益優先の觀念の理解が最も必要とされる部面の一つは農村であると言つてよい。農業に關する基本國策は食糧政策の根本確立、農業及び農家の安定、農業關係機構の改革の三點だが、農相は農業の本然の公益主義を取戻し、他の産業に範を示す意氣込の

やうだが、正に賛成で、その實現を期待する。(日日社説 八・二五)

一六

「農村問題の再出發」 今日ほど農村問題が重要性を帯びて來て居る時はない。而も何れも火のついたやうな問題ばかりである。例へば勞務動員計畫によつて農村の勞働力はどん／＼と都市に集中せられる。また國防上の觀點から都下工業を農村に移さうとする國土計畫なるものがある。更に農村に於ける傳統的家族制度の危機がある。又或種の産業と結核との關係の如きはいよ／＼以て國家の將來に暗影を投ずるものといへよう。何れにしても現在以上に農村が工業化された時の事を考へると、體力資源としての農村の價値は零に等しくなる惧れすらある。思ふて茲に到れば國土計畫も勞務動員も十分の用意を以てこれに臨む必要があると思ふ。それには、これらの問題をめぐつての論壇の活動こそ眞に望ましい。いづれにしても吾々は、全精神と全能力とをあげて國の内外諸般の問題を研究し、そこから新體制に力強く働きかけることを考ふべき時である。(國民 八・二五、古屋芳雄)

「弱小企業對策の確立が急務」 失業と窮迫の最も深刻な弱小業者は企業合同、下請工業への轉業さへ不可能な零細業者又は不適格の業者が大部分だから、政府の轉業斡旋、技術指導の政策網が行届かぬと殆んど更生の途がない。政府はかゝる業者には一段と眞剣、積極的なるを要し、匡救方法も合理化運動や自力更生運動以上に現實的な着想と施設が必要である。(中外社説 八・二〇)

「中小工業對策の確立」 中小工業が我が産業に於て量的に壓倒的優勢を占めてゐることは周知の事實で

あるが、之は、工場數を中心にしたもので、生産額といふ質的側面より觀測すると、化學工業、機械工業、金屬工業等の時局産業も、生産額に於ては二十パーセント乃至二十五パーセント程度であつて、決定的位置を占めてゐない。換言すれば生産額に比して中小工場數が過多であると云ふ事實で、これが中小工業問題を解決する鍵である。そこで當然問題になるのはその轉業對策である。眞の解決は、技術的には相當困難があつても大資本に吸収する方向がとられなければならない。更に中小工業問題の解決は決して一時的便宜主義的な糊塗策を以て處理するべきものでなく、當局は、その重要性を認識して根本的對策を樹立してをくべきであらう。(國民社説 八・二五)

「生産力擴充と國土計畫」 政府が基本國策の一として國土計畫の確立を擧げてゐるのは、いが、かゝる大規模にして精密な計畫が悉く實現し得るか否かは大きな疑問があり、多くは机上案に墮するのではないかと思はれるので、當局は先づ計畫の重點化を期し、近く設置される中央委員會には民間の技術者と實際家を參畫せしめ、實行可能の計畫を樹て、國土計畫の時局的意義を認識し、その企畫と起用を迅速、效果的ならしめるやう萬全を期すべきである。(中外社説 八・二三)

「先づ國土計畫」 内務省は來年度豫算編成方針として國土の經營開發を中心とする計畫を樹てるに決したといふのは尤も至極だが、先づ近衛内閣の政綱の一たる綜合國力の發展を目標とする國土計畫の確立を先決問題とし之によつて各省を通じての國土計畫が先づ立てられ、内務省の方針の所謂國土經營

一七

といふ種類の仕事はその全面的企畫に基いて計畫せられねばならぬ筈である。近衛内閣が政綱の一に之を取り上げたのは時宜を得たものだから、速かに計畫樹立への具體的段取りを進め來年度豫算の決定に先立ち少くとも國土計畫の方向だけでも決定し、之によつて各省豫算査定基礎を固め、無用の國力の浪費なからしむるよう努力せんことを望む。(讀賣社説 六・二一)

「貿易事情の變貌とその對策」 第三國貿易況は年初以來再び入超に逆轉し、今後更に萎縮すれば國內諸般の經濟政策にも重大な影響を與へるから、拙速的にも巧みに商機を把握することが必要であり、貿易の新體制強化は素より必要だが、當面の事態收拾にも機敏な對策を講ずることが一層切實な問題である。(中外社説 八・二二)

「日滿支貿易會議の重大使命」 東亞の盟主たるべきわが國としても、舊態依然たる對第三國貿易偏重主義を完全に清算して、日滿支アウタルキの原理に照して共榮經濟圏の建設に進んで協力せねばならぬ。從來や、もすれば、第三國輸出の伸張に主力を注ぎ、これによつて得た外貨を以て輸入力を増大せしめるのがわが貿易政策の根幹であるかの如くに信じられて來たのであるが、今日の國際情勢のもとに於て、なほ危険至極な政策を墨守すれば、わが國の國防の基礎をますます脆弱ならしめるのみである。日滿支貿易會議は以上の如き情勢に於て、その意義は誠に重要なものあり、列席の諸氏は最早一刻と雖も區々たるブロック意識に跼踏せず、まさに大東亞建設の理想に徹して具體策を樹立すべ

き秋であることを知らねばならぬ。(報知社説 八・二六)

「現實的統制經濟の限界」 事變以來滿三年を経て、その間種々の非難があつたにせよ、漸く統制そのものが徹底して來たことは何人も疑ひえない。所謂新體制が非常な魅力を以て國民に待望される有力な一因であるが、今後の統制が如何なるものか、これが吾々の問題である。

事變當初から勿々の間に爲された官僚統制には幾多の缺陷があり、そこには所謂官僚の反省を要するものがあつたが、その反面、事變突發後の火急な需めに應ずべく實行された統制は飽迄も『現實的統制』であつたからである。必要に應じて順次規整する統制であつたため結果より見れば迂遠であり不徹底である場合が多く、而も『全』の爲めに『個』を無視せねばならぬ場合が多い結果、現實的統制でありながら、否寧ろ然かるが故に、一般大衆の現實的非難を受けねばならなかつた。兎に角、今日迄の統制經濟は『必要性』と『可能性』との範圍を出でなかつた。實際に行はんとしたものは最少の必要性と最大の可能性との見合において運ばれて來た。これに飽き足らぬ者も確かに存在するし、また極めて革進的な意見を抱懐する者の多いのも意味なしとしない。前述の『現實的統制』の對蹠的立場に立つものはいふまでもなく『觀念的統制』である。

『新體制』に杞憂を持つ者がありとすればそれは凡ゆる必然性における認識不足である。それは時代的必然であるだけその過程で如何なる困難を経やうとも官民一致斷して完全ならしめねばならない。

その新體制下における統制が如何なるものか、今日迄の現實的統制が「觀念的統制」にまで飛躍しはせぬかといふことに一般の關心があるやうである。こゝにいふ觀念的統制とはイデオロギーによる統制、思想的理想的國家再建のために選擇した政治的手段を云ふ。

筆者は斷じてかゝることなしと信ずる。近衛首相は「憲法を尊重しつゝ」と確言してゐるがこれは同首相として餘りにも當然であり、新體制の現實性がこゝにある。

今日までの現實的統制經濟は既に徹底し、その程度、時間について尙ほ進行するにしても、方法的には凡そ最後の關頭に立つたとの感が深い。筆者は凡ゆる角度から見ても觀念的統制への飛躍は有害無益と考へる。

生き物に對する統制は飽く迄現實的實證的であるべきである。況んや現實的要求が最も緊急を要する現在、如何に完全と考へられる懸念も實證的でないものの實現は許されない。觀念的統制を考へる者も絶無とはいへないが、併しそれは互に國を思ふ情熱であつて、現實の行動は自ら別なものがあると思ふ。

従つて來るべき新體制下に選擇すべき統制的性格は極めて危険性ある觀念的統制への飛躍でなく、久しきに互る現實的統制の試練を経た後の最も積極性を持つより高き自治統制への止場である。

現實的統制強化は必至と考へられるが、右のことからそれは決して怖るべき處ではない。(都 八・二)

### 三二四夕、太郎冠者

「贅澤品は第三國へ」七・七禁令によつて業者の蒙る打撃が意外に深刻であり、この結果種々の方策が講ぜられてゐるが、その多くは消極的應急的これを積極的に活用する意氣が見えぬのは遺憾である。本來の贅澤品に更に手間を掛け國內で消費せしめる如きは應急的救濟策として已むを得ぬにしても、餘りにも非能率的對策ではないか。何故に進んで第三國に輸出し外貨獲得に資せしめようとしな

いのか。

このためには外向に加工してもよく、また消費促進のために對外宣傳商略を用ふべきであり、短日月に行ひ難ければ、まづ加工業者の手持品を輸出會社に肩替りさせ、或ひは低利融資をなし、或ひは生絲の如く政府が買上げてよい。現に寶石類についてはこれに類する方法を採用することとなり、次いで一般の所持品に迄及ぼすべく目論んでゐることである。

目先の辻褄を合せるため折角の價値を勞力を費して引下げて國內の消費に振向けるが如きは七・七禁令の眞意に副ふものか疑はざるをえない。獨り七・七禁令のみではない。金製品買上以來金價値のみによる買上に對する不満を聴く。銀買上についても同様の感が深い。銀製品はその地金價値を目前に保有するものは殆んどなく、その價格構成中材料費の占める割合は甚だ僅少で、これを地金價値のみで買上げるのでは何人も愛惜に堪えないであらう。

徒らに鑄潰すのは國家的に不經濟であり、宜しく一定の機關がこれを預り少しく氣永に海外向けにその持つ儘の價格で處分することに工風する所あつて欲しい。(都 八・二二夕、K・S)

「統制の新たなる性格」最近、周知の如く、一部では資本と經營の分離が喧しく論ぜられてゐる。すなはち、經營をして國家目的に動員するには私人格的な資本の支配から經營を引離さねばならぬ、といふのである。企業を直接國家の支配下に置かうとする國策會社と同様新體制下における再編成の一方法である。

これには重要な前提がある。第一にはかかる機構下における經營者を如何に求めるかである。實際的知識なき第三者が企業、經營に入る場合、結局資本に押へられることになる。

第二に、資本の積極的吸引を圖るため國家保證が前提となることを言を俟たない。この意味で目標としてはとにかく、企業を直ちに如上の形態に置くことは甚だしい冒險である。資本が國家目的に沿はぬ憾のあるその原因は資本自體に責任あるのは否めないが、既往の統制そのものも再検討する要がある。統制強化が資本活動の全面的否定である限り、前述の如き形態は不可避である。資本活動を一定目標に動員することは決して資本そのものの否定ではない。ナチスの經濟統制を全體として見ると、素晴らしい躍進を遂げ、それが個々をも潤ほし、茲では決して私經濟そのものの否定となつてゐな

す。

現在我國で要請されてゐる統制もかかる意味のものでなければならぬ。換言せば、統制の質的轉換であり、こゝに統制の新性格を見出すのである。這般河田藏相は統制の積極面を生かすべく努力すると力説したが、今日、最も必要とされるのは専らこの一點に存するのであつて、私經濟の否定ではない。(都 八・二二夕 三洲)

## 東亞關係

二四

### △天津の現銀問題

佛租界現銀の件につき日英協議の結果次の通り決定した。即ち、(一)二十萬磅及び諸費用銀三百萬元はこれを横濱正金銀行金庫へ移管する。(二)右の現銀處分に關しては英佛關係の現情に顧み、佛國としては直接英國との交渉が不可能なので、先づ米國と交渉する豫定である。(三)右現銀移管は八月二十九日より着手の豫定である。(八・二四 天津發情報)

## 海外關係

### △世界戰爭に關する國際決済銀行の報告

最近發表された國際決済銀行の年次報告は先づ第一に戰爭勃發に伴ふ國際金融界の異常な課題及び諸關係を取扱つてゐる。その序論で戰爭勃發に至るまでの發展を同願し、次の諸點を指摘してゐる。すなはち、生産増加の結果、平常の消費に充當さるべき財貨及び給付を事實上制限せず膨脹した國家の要求を満たし得、また、多くの諸國においては膨脹せる國家支出は明かに活潑な民間投資活動(例へば住宅建築における)と矛盾しなかつた。戰爭の勃發したのは丁度、多くの諸國で經濟が消費、生産及び投資活動の活潑化と共に上昇的に發展してゐた時であつた。

戰爭經濟の根本問題の由來する所は實に、國家の需要が二倍或ひはそれ以上に増大し、同時に動員による勞働力の減少と外國貿易の阻害とに伴ひ財貨或ひは給付の供給乃至調達が著しく困難となる處あることにある。今次の戰爭は一九一四——一八年に貸入られた借款の辨濟されぬうちに勃發した。従つて、若干の諸國では一箇年の國民所得乃至これを超える金額に相當する相當過重な國家債務負擔を背負つてこの戰爭期に入つた。課稅率は未曾有の水準に達したとはいへ、戰爭の最初の半年間における總支

二五

出の半分以上を租税収入を以て充當し得た國は歐洲では極く少數であつた。それ故、信用の需要は巨額に達し、今日では從來私的投資に向けられてゐた資金を要求してゐる。このことは建築活動に特に重要な意義をもつてゐる。建築活動こそ最近數年間貯蓄資金の最も重要な投資部門であり、多くの諸國では資本新規形成年額の半分以上を吸収した。

同報告は更らにアメリカ合衆國の特異な問題に論及してゐる。アメリカはラテン・アメリカ諸國及びその他の原料生産諸國と共に世界生産力の約半分を占めてゐる。國民所得七〇〇億弗を有するアメリカ合衆國の經濟情勢から見れば、その輸出貿易増進は決定的な重要さを殆んど持たない。蓋し、同國の一九四〇年二月まで六箇月間の總輸出額は、僅かに約二〇億弗にすぎないからである。これに對し一九三八—九年の右に相當する六箇月間は一五億弗。なほ、從來の經驗を徵するに、弗平價切下、金利引下及び赤字政府支出等の純金融的諸方策を以てしても、經濟を永續的に堅實化し或ひは有効にこれを維持するにさへ足りなかつた。かゝる方策の効果が持續するのは専ら、(物資經濟上の情勢と共に)これらの方策が耐久性ある生産資材及び住宅建築方面への民間資金のたえざる流入を左右する間だけのことである。

同報告は金市場の情勢及びその發展につき特に立ち入つて報告してゐる。國際決済銀行は最近數年に互つて金市場で多數の中央銀行のため媒介機能を營んで來た。世界の金生産高は一九三九年には六〇%の増加を示し、三九五〇フライン・オンズと新最高記録に増加した。この場合、ソ聯の金生産は依然五〇〇萬オンズであつた。アジア方面の死藏金の供出量も一億一〇〇萬弗(前年度六九〇〇萬弗)に増加した。この主因はルービ、磅及び銀を以て表示せる金價格の騰貴を利用しようとする思惑である。貨幣準備金の純増加額はアメリカ合衆國のみでも三一三萬弗に上り、このうち七三萬弗は國際收支決済に使用され、二〇〇萬弗は資本流入である。フランスは一九三九年末には金の強制引揚の結果年初より多額の金を保有してゐたが、イギリスは國際收支勘定の支拂超過増加と外國資金の流出とのため、輸入資金手當のため金を處分せねばならず、オランダ及びスイス方面からの多額の金需要に悩まされた。數量並びに金額(一九二九年に比し倍加した)より見て金生産が莫大な増加を見せたにも拘らず、商品價格は何等騰貴することがなかつた。この問題につき同報告の結論は、この問題は主としてアメリカの情勢に左右されてゐるといつてゐる。この點で重要なのは、資本移動の反映で新産金の大部分をアメリカ合衆國が保有したことである。しかし、この場合、外國資金は新工業乃至商業企業の金融には利用されなかつた。蓋し、資本市場における國內資金がこれらの目的その他に豊富に存在してゐたからである。金はそれ自體物價に何等の魔術的影響を及ぼすものではない。たゞ金保有高が實在的な購買力の増加を招來する場合に限り、物價水準への影響が豫想されるのである。アメリカ合衆國への金流入の本質から次の點が極めて明瞭に認められるに至つた。すなはち、アメリカ合衆國の住宅建築その他の分野



における民間投資活動の活況を阻止する諸障害は同時に本質と、金流入が物價水準に何等影響を與へなかつた原因でもあるのである。

結論では將來の發展に關する全般的觀察を述べてゐる。すなはち、戦争による動搖以外に一層根本的な變動が發生し歐洲のみならず全世界に影響をもつであらう。敵對行動終了直後に經濟及び財政情勢に關しまた達成すべき課題につきなるべく明瞭な見解を持つことが絶対に必要である。戦後の救済及び復興なる課題は、如何に破壊が巨額に上らうとも、今日の能力を以てすれば殊に累積した資金を有効に動員するなら困難に過ぎる惧れは全くない。殆んどすべての諸國において既に戦後世界の處理すべき經濟並びに金融組織の問題に關心が拂はれてゐることは注目し得る。先づ協働の意思の存する限り、世界復興なる重大事業を處理する適切な手段が用意されるとも考へられる。

國際決済銀行は自行の活動につき、限られた範圍内ではあつたが各中央銀行による若干の自動的に處理される商業信用の媒介を行つたと述べてゐる。如何なる交戰國にも經濟的乃至金融的利益をも齎らざることを極めて明白なる業務のみにその營業を局限する方針を堅持した。同銀行はこの原則を遵奉するをその義務なりと考へ、昨年十二月これを各營業關係者に書面を以て通達し、それは嚴正中立の政策を表明せるものとして全般的に承認された。(フランクフルター・ツァイトゥング 六・二九)

#### △獨伊樞軸金本位を議す

ローマよりの報道によれば、イタリー著名の經濟學者マリオ・マッチェリー氏はローマの經濟紙「イル・ソレ」紙上に左の如き記事を掲げ歐洲戦争終結後、獨伊樞軸は金本位制に復歸する可能性あることを示唆、多大の注目を惹いた。

イタリー上院議員アメンド・ジアンニニ氏を長とする獨伊經濟專門家團は獨伊經濟相ワルター・フンク氏を交へ、去る八月十七日某所に於て秘密裡に會合を開き全歐洲の經濟諸問題に關し協議を行ひ、その結果左の如き結論に到達した。一、獨伊の勝利を以て戦争が終結した際は獨伊樞軸は金本位制に復歸する。一、ベルリンをロンドンに代り歐洲の金融上の中心とする。一、ライヒスマルクを歐洲の指導的通貨とする。但しドイツ以外の諸國がそれ／＼獨自の通貨を有することは妨げない。なほマッチェリー氏はドイツはオーストリアの保有金を加へて現在リラ貨換算百五十億リラの金を保有し、イタリーまた二十五億リラを有する事實を指摘し金本位復歸は不可能ではない旨示唆して注目をひいてゐる。(ニューヨーク 一九、發同盟)

#### △戦時イタリーの石油政策

イタリーの石油専門家ギオバンニ・コッパバツツカリは最近「イタリーはドイツと同様のアウトタルキの大道を歩んでゐる」と云つてゐるが、兩國經濟機構の相違から、殊に國內石油及び石炭資源の缺乏せしむるため、その政策は必ずしも同一でなく、イタリーの石油政策はドイツその他に比し遙かに複雑且つ困

難である。従つてファシスト経済統制の手で従来達成された業績は誠に十分高く評價すべきことである。先づイタリアの礦油消費を見るにその増加は前世界大戦二、三年後自動車普及に伴つて現はれ、その輸入は一九二四年七〇萬六千噸から一九三八年二六〇萬噸、一九三九年上半年一四〇萬噸を増加した。

(1) 石油輸入統制——多くの礦油輸入国におけると同様イタリアでも礦油輸入を國防政策的見地から統制しようとする努力してゐる。輸入国の状況につき見るに、第三次五箇年計畫によるソ聯の礦油輸出能力増大の結果、ソ聯からの輸入が再び活潑となり、アルバニアは本年度總礦油輸入の約一〇%を占めるにすぎない。また、ルーマニアよりの輸入は、同國石油工業へのイタリア資本の参加とルーマニアよりの對英佛補給の中止とにより、最近頃増加した。

(2) 原油輸入の増加——右と同様、礦油輸入の品別構成も著しく變り、完製品よりは寧ろ原油を益多く輸入してゐる。原油輸入の割合は一九二四年三%に過ぎなかつたが、一九三八年には六三%となつた。その理由は就中、原油輸入にはそれほど多額の爲替資金を要せず、原油による貯油は長期に亘るとき一層簡單且つ安全であり、輕油の貯油能力は限られてゐる點にある。

(3) 精油工業の整備——かゝる礦油政策の前提條件として自國內に生産能力ある精油設備を持つ必要がある。イタリアは最近精油工業を建設し、一九三九年上半年には完製品八〇萬噸を生産するをえた。(内譯ガソリン二四萬四千噸、減摩油三萬五千噸、ディーゼル原動油一四萬噸)。その技術的裝備は極めて

近代的であり、就中、石油水素添加法によりアルバニア石油を原料に、極めて高率なガソリン回収率(四〇—八〇%)を達成してゐる。

(4) 石油直接液化工業及び頁岩油工業——石油分溜、分解及び液化工業と並んで、褐炭液化設備の建設が着手され(年産能力一八萬五千噸)さらに、石炭ターブル採收のみの二工場(年産能力二〇萬噸)が建設されてゐる。これら工場の製品は次いで石油水素添加工場で加工され、原動油に加工される。なほ、頁岩油工場(計畫年産能力一一萬三千噸)が建設されてゐる。

(5) 國內の産油——熱心な努力の結果、イタリア國內の礦油生産高は一九二四年六千噸を一九三二年三萬噸に増加したがこの後は再び一萬三千噸に減退した。一九三八年の新五箇年計畫は同國各地における高深度ボーリングを計畫し、この極めて費用の嵩みかつ困難な事業に多大の期待を懸けてゐる。かかる事態から、イタリア植民地でも石油探査が熱心に行はれてゐる。

(6) アルバニアにおける重大な成果——アルバニアにおける採油は多大の成果を挙げた。今日油井三〇〇箇所、採油量は一九二五年一千噸から一九三九年一四萬噸に激増し、本年には三〇萬噸に達する豫定。アルバニアの原油は新設送油管によつて海岸に送られ、こゝから油槽船でイタリアの精油所に海上輸送される。

(7) 多角的な合成原動油生産——イタリア本國及びアルバニアの石油生産量はイタリア礦油消費量の $\frac{1}{10}$

を満たすに過ぎないので、その代用品及び合成品の勤める役割はドイツにおけるよりは重大である。その上、石炭資源の不足はさらにこの計畫を著しく困難ならしめる。それでも、多角的な方策並びに計畫によつて廣汎な原動油オートタルキーを實現してゐるが、そのうちでも特に重要なものは、既存石油頁岩、瀝青含有石灰岩、アスファルト岩等現存埋藏資源の採取増加、ベンゾール増産、原動機用瓦斯（石炭液化工場より生ずる半液體瓦斯）の使用増加、天然瓦斯（メタン瓦斯）の利用増加、瓦斯發生装置附車輛の使用増加、木材並びに糖液等を原料とする原動機用酒精の増産等々である。この國のオートタルキーの經濟統制において以上の諸計畫が勢力的な熱情を以て實施されてゐる。

イタリアの礦油經濟現在の供給状態に關する數字は戦争のため缺けてゐる。種々な報告によると、一九三七年ムツソリニの樹立した目標——先づ輕油及び減摩油につき外國依存より脱却せよ——は十分に達成された。輕油消費量は一九三八年約五〇萬噸、一九四〇——一年度七〇萬噸に達すると豫想されてゐる。しかし、その後、一九三九年九月以降地中海封鎖のためこの數量を著しく下廻ることになった。公表された石油生産量は、イタリア及びアルバニアの原油より得られたガソリン二萬五千噸、アルコール二萬噸、褐炭ガソリン一〇萬噸、頁岩油ガソリン二——五千噸であり、これによれば大規模な計畫の實現程度が明かとなる。その上、ガソリン三萬噸が木材瓦斯發生装置によつてまた一萬噸がメタン瓦斯によつて節約された。他方、今日、ガソリン消費は全礦油消費の一部を占めるにすぎない。すなはち、ガソ

リン以外に石油、ヂーゼル原動油、燃料油等の需要をも考慮すべきである。遠慮ある貯油政策をも含む國內供給確立の準備方策によつてこの製品の供給が略確立されたやうに思はれる。（ウィルトンシャフツ・ドイーンズ 七・一八）

#### △自由磅の絶滅

従來公定と自由の二重磅爲替が行はれて居た。自由磅は當局の統制網を潜つて紐育で値崩しに賣却され、またこれの定期的な軟調は敵國の大々的な宣傳材料に利用されて來た。この點にのみ止まらず、とにかく磅の自由市場が存在すると云ふことは、戰需購買に活用すべき貴重な非貨獲得に對する當局の缺陷を意味するものであつたが、今回嚴密な措置が講ぜられ實際上に自由市場は閉鎖されるに到つた。これに依る結果は次の如くである。

第一に倫敦——紐育間爲替關係は完全に他の金融中心地から分離され、従つて兩國間の未済バランスの管理、清算が比較的に簡易化されるし、この措置に依つて敵國支配外諸國の磅手持者が唯一の自由市場たる紐育市場での賣却正金替を妨げることになる。第二には既に當國の外國勘定に獲得して居る磅バランスたる「舊磅」(old sterling)と現在の通商取引より生ずるバランス「新磅」(new sterling)が區別され、故に舊バランスは嚴格なる統制を受けることになり、英國からの間接的經路を経て在外磅資金の涸渇に依つて生ずる現在通商支拂に對する損傷は除去されるであらう。第三は従來當局の統制網を抜潜つて居

た弗貨供給が捕捉される譯である。

吾々は米國からの必需品輸入の爲めに凡ゆる弗貨を必要とするのであつて、そこで今回の爲替管理を概要すると、この國防(財政)規則を改正するこの新勅令の骨子は、磅域と米國間の取引を全部公定相場を以て決済せんとするにある。これは米國との政府當局間の清算協定に依るものではなく、米國銀行並びに聯邦準備當局との取極めに依るものであつて、この積極的な協力に對しては充分感謝せねばならぬ。磅域と米國間の認可支拂は全部弗貨か或は米國銀行又は商業關係の名に依つて聯合主國內に設定される「磅登録勘定」(Registered Accounts)を通して行はれ、弗貨からこの勘定への算入は公定相場に依る。米國內居住者に對する自由磅支拂が停止されるのであるから、米國の自由磅市場は急速に消失するであらうが、當分は米國銀行の磅バランス残額から賄はれるであらう。このバランスは何れにしても閉鎖されないし、本令施行當日に於て既約定の決済には使用出来る。然しこの自由磅資金は填補されることなく、決局公定相場に漸次鞘寄せすることになる。同様な協定が他の唯一の自由通貨「hard currency」、國たる瑞西と締結されて居るが、現在のところこれは大して重要性はない。爲替管理計畫遂行の爲非自由通貨「soft currency」、諸國との支拂協定の連鎖が急がれて居り、これ等協定は「特別勘定」(Special Accounts)を基として居るが、既に諸國と協議が進められて居り、特に重要なものはアルゼンチン、ブラジル、瑞典、和蘭、自耳義植民地等である。自由磅市場が失はれてしまつた今日、他の諸國もこれに伴隨するものと豫期される。

「登録」並びに「特別」勘定の技術は緊密な相對行爲的關係操作を基にする。米國銀行の「登録勘定」間のトランスファーは許可されるが、米國の該勘定と瑞西の銀行間に於ては許可されない。「特別勘定」に於ても同様であるが、但し相互通商以外のものを賄ふため該勘定の使用が認可されたものは例外である。實際には英國爲替操作の全部を含むこの技術的方面の擴張に依つて、磅の國際通貨としての地位を廢位する譯であるが、然し「登録」及び「特別」勘定の各々がその關係國と磅域間の直接通商に對してのみ有效な完全に獨立分離したものであると考へてはならない。英國——瑞典協定の經驗に依つて、瑞典の英國輸出による手取金が、非磅域からの瑞典輸入を賄ふのに如何に使用されたか、示されて居る。この多角性の要素は今後各「特別勘定」協定に關する約條を適當に改正して採用されることにならう。然し「特別勘定」國間の相互關係に對しての、今日構成されつゝある組織は、獨逸のアスキマルク制に酷似して居り、故に「登録」及び「特別」勘定の方途は必然的に世界中の爲替市場で賣買自由な均等磅貨の一时的絶滅を意味することになるのであるが、それ自身の内に英國の現在の國際通商組織に調和すべき多面的清算制の因子を胎孕して居る。當局としての主要問題は「登録」及び「特別」勘定の全體構成を適當な均衡に保つことであつて、最も重要な點は、米國「登録勘定」に關するものである。この場合この均衡は、倫敦に於て或ひは紐育聯邦準備銀行を通じて磅の賣買操作に依り英蘭銀行の準備を以て維持される筈である。故に磅、弗域間の通商は爲替動搖の不安に遮止されずに自由に擴張される。

爲替管理の實施に於て、新規則は狡猾な逃避策に對して罰則を定め、特に報酬の手段に依る資本輸出を注意して居る。例へば米國に於て第三者に弗支拂をして呉れた報酬としてでも、英國内で米國人の負債を支拂ふことも出来ない。これがたとへ國外に資金の流出せざることを明かな操作である場合に於ても同様である。また徹底を期する手段として如何なる僅少な違反をも發見すべき爲めの機關が設置せられた。(七・二〇 倫敦エコノミスト誌)

△衰頹甚しきイギリスの經濟力

イギリス貿易勘定は數十年來多額の入超をその特徴として來た。イギリスの「無形の」輸出の收益——ブクラー侯はこれを適切にも「無形の帝國」と呼んで居る——こそこの巨額な商品勘定の支拂を特別な困難なしに補填するものであつた。

戦争はこの分野でも強力的に均衡を破壊した。飢餓封鎖、「ブラック・リスト」及び戦時禁製品取締等ドイツを比較的安全な遠方より強要せんとする諸方策はドイツ武器の偉力の前に無効となり、イギリス自身が今や軍事的創痍に加へて一層重い經濟的創痍を受けることとなつた。このことは戦争の影響により輸入超過が依然激増してゐることに現はれてゐる。しかも、同時に「無形の」輸出は益々減退しはやくこの入超さへ補填しえなくなつた。一九三八年の貿易勘定戻は約三億三七〇〇萬磅の支拂超過で、一九三九年には四億〇一二〇萬磅に戦時最初の七箇月分は三億二七〇〇萬磅に激増した(前年同期には二億

〇八〇〇萬磅にすぎなかつた)。本年初三箇月分だけでも入超額一億八〇〇〇萬磅で、月平均六〇〇〇萬磅となり、情勢がイギリスに著しく好轉せぬ限り本年度の入超總額は少なくとも七億二〇〇〇萬磅といふ記録的水準に達するであらう。かゝる危急状態が輸出によつて緩和されようとは殆んど期待出来ない。イギリス産業は政府の註文を過重に背負ひ、この緊急な戦時状態では輸向商品引渡の餘地は殆んどない。

貿易外收支勘定項目の状況を見るに、まづ最初にイギリスの對外投資からの収入がある。これは一九三八年には約二億磅の収入を齎らした。本年度のこの收支勘定はこの二億磅とは相當の開きを示すであらう。蓋し、この収入の財源——對外投資總額の額面價額——がイギリス人所有の高價なアメリカ非證券類の強制賣却のため相當減少してゐるからである。軍需資材購入代金として少なくとも總額四億弗を下らぬ有價證券が賣却されてゐる。従つてイギリスはその對米投資の半分以上を犠牲とし(一部は安値で初めて處分しうるのでその損失はさらに多額である)、間もなくイギリスの對植民地投資の一部をも處理せねばならなくなるであらう。かゝる有價證券の賣却は結局自身の骨肉を削ることに外ならない。蓋し、かゝる投資を現金化すると共にイギリスは當然植民地重要産業部門に對するイギリスの統制をも失ひ、次いでこれがアメリカの手に落るであらう。

右にも増して重大な減損は海運収入である。この部門における収入——一九三八年には未だ一億磅であつた——の減收甚だしいであらう。蓋し、イギリスは船腹不足とドイツの海上戦とのためその大部分

の海上輸送路をもはや利用しえなくなつた。殊に、多額の外國資金を吸収してゐた不定期船船腹はイギリス自身の輸送のために専ら要求されるばかりでなく、高率な備船料を支拂つてまで中立國船腹を備ひイギリス本國への軍需品、食糧品等の補給を多少とも確保せねばならないのである。

しかも、銀行手数料、媒介及び短期資金投資等より生ずる収入も勿論一九三八年度の三五〇〇萬磅以下に減少するであらう。ロンドンには世界金融の中樞として餘りにも不安となつた。磅は世界貿易から遮断され、その威信既になく、また、何時にかその預金を封鎖しその自由な處分を不可能ならしめる虞ある國にはいかなる諸國もその資金を委託することはない。ロンドン金融界の舊き榮光の影さへ全く消失した。各國共相ひ次いで磅とのリンクを離れ、ギリシア及びフィンランドの諸銀行は磅建支拂を拒否し、ニューヨークの金融業者さへロンドン振出し小切手を閉め出してゐる。貨幣と金とは安全と保護とを保證するもののみ集る。イギリスはもはやこれらを保證しえなひし、また、資本は支拂不能の惧ある同國を回避する。

それ故、イギリスの國際收支勘定はその均衡など思ひもよらない。既に過重な「偏航」となり、もはや現在以上の荷重に耐え得なくなつてゐる。「平常通りの執務」とは前大戦當時のイギリスの一大標語であつた。これは今次の戦争にも利用するはずであつたが、實際上の實行方法は既に時代遅れとなり、計算は解けずに終つた。イギリスはもはや儲けることが出来ず、却つて自分の肉體を喰むに至つた。(ドイッ

チ・アルゲマイネ・ツァイトゥング 六・三〇)

#### △最近におけるイギリスの戦争金融状況

イングランド銀行の紙幣流通高は西部戦線における戦闘行為の開始以來すなはち五月初より毎週平均一〇〇〇萬磅を増し、七月第一週發表の報告では一三〇〇萬磅の増加を見、六億〇二〇〇萬磅に達し、一九三九年平均に比べると一億〇三〇〇萬磅、二〇%の増加である。この最近數週間における紙幣流通高の異常な膨脹は専ら英佛海峡地帯及び大都市住民の強制避難によると傳へられてゐる。他方、イギリス政府の支出がチャーチルの組閣以來毎週約一〇〇〇萬磅の増加を見てゐることも見逃しえない。その上に貸銀支拂のための通貨需要がある。イギリスの紙幣流通高の今日の如き膨脹状態が少なくとも部分的にはインフレ的性格を帯びることは否定し難い。勿論購買力が實際上涸渇し初めたときがインフレの最高頂期であることいふまでもない。

小額貯蓄は活潑な宣傳の結果六月第三週にはその前週に倍加し二〇〇〇萬磅となつた。昨年十一月以降かゝる方法によつて二億三四〇〇萬磅が國家の金融目的のために提供され、このうち一億〇四〇〇萬磅は戦時公債の形を、九八〇〇萬磅は貯蓄債券の形を、また三一〇〇萬磅は普通貯蓄預金の形を採つてゐる。最近、發行額無制限償還期間五乃至七年、二分利附の國民戦時公債の發行が開始された。賣出第一週における同公債の引受高は六一〇〇萬磅で、このうち二〇〇〇萬磅は某保險會社であつた。賣出の際に

の新規公債は先づ第一に保險會社その他の證券取扱業者を目標とする旨強調されてゐた。民間資金はこれには餘り關心を示してゐない。最低賣出値段は、募集の行はれる限り、すなはち無期限に、額面通りに据置かれた。しかし、額面金額による一切の賣出公債の引受を確保するため、従つて強制引受人が市場を混亂せしめることなくその手持公債を賣却しうるやうな準備が講ぜられる旨保證されてゐる。

チャーチルの任命した諮問委員會は改めて強制貯蓄制實施の可否につき検討してゐる。これにはケインズも參加してゐる。同委員會のメンバー八名は各種の活動分野と意見とを代表し、従つてチャーチン首相はこの委員會に對し戦争金融の根本問題に對する解明を期待してゐるものやうである。ロンドン金融界での著名の士であり尊敬を拂はれてゐる金融人カト卿は大藏省顧問に任ぜられた。同卿は實踐經濟上必要な金融政策諮問の際に協力するであらう。カト卿は豊富な經驗を有する金融人として全ロンドン金融界の信頼を得てゐる。既に屢、同氏は重要な國家的使命を引受けたことがある。彼はあらゆる實際上の金融問題に關し藏相の諮問に應ずるため私經濟の地位を一切辭退した。

本年度第一四半期のイギリス財政は五億〇七〇〇萬磅の赤字(前年同期には一億五二〇〇萬磅)を以て終つた。この場合歳入は四四〇〇萬磅を増して一億八八〇〇萬磅に増加してゐる。これに對し歳出は二億九六〇〇萬磅から一躍六億九五〇〇萬磅に膨脹した。最近における歳出増加ラムボは年額三五億磅に相當するが、これに對しサー・ジョン・サイモンの編成した豫算は二六億六七〇〇萬磅にすぎない。(フ

#### ランクフルター・ツァイトウング 七・五)

#### △米國の戰時原料資源政策

アメリカは個人の自由と生命と財産と通商の自由を極度に尊重する國柄なので、福利經濟の立場から國民の生活水準まで低下させて國力經濟體制を編成する勇氣もなく必要もないとの議論が強い。然し生活水準は單に衣食住の物質的條件によつてのみ規制されるべきものではなく、國家の躍進の持つ潑刺たる精神生活によつて高められるのである。一面からいへばアメリカにおいて相互に對立する福利經濟と國力經濟とを以て原料資源を取扱はんとする混亂は、アメリカが數個の資源を除く以外は、原料消費國と同時に生産國であるといふ特殊の富有状態から來てゐるものと考へられる。従つて自由の消費を維持することは自國の原料生産を守ることに外ならぬから、アメリカとしては原料に對して防禦的立場を執らねばならぬ。かくて中立法は戰時禁制品の内容を擴大して原料を維持し敵國を壓迫するかのやうに國防資材輸出取締法となつて現はれた。然しアメリカにはゴムと錫の生産が餘りないので他國から獲得するには外交か武力か金力か何れかの手段に依る外なく、アメリカは先づ外交と金力でゴムと金屬の兩貯藏會社を設立して蘭印と馬來に働きかけることにならう。だが如何に原産地に投資し原料生産の植民地を海外に持つてゐても、資本の安全と輸送船を保有しない限りは駄目である。イタリーの參戰以來、アメリカは自國の中立法が地中海、紅海にまで及ぶことになつたから、海運業は重大な影響をうけ別途の發展を

求めねばならなくなつた。これに對してアメリカはイギリス管理下の諸威、和蘭の商品が東亞や南米航路から撤退する可能性あるものと見、更にアメリカ有数の汽船會社は東亞のゴム、錫、マンガン、タングステン等の重要原料を眼がけて東亞航路に加入することになつたといはれる。原料確保は原料通商市場と不可分の關係に立つのである。アメリカ在支商務官は支那が工業化する場合、支那人一人當りの購買力は月四十元の増大となることを指摘し、米支貿易委員會副會長も亦支那が年に七億五千萬ドルのアメリカ商品市場になり得るものと推論してゐる。アメリカには現在支那に對して三つの觀測が行はれてゐる。即ち(一) 日本を中軸とする支那こそアメリカに商機を増大せしめる。(二) 日本の努力によつて米支貿易は消滅するから、これを保持する價值がない。(三) 米支貿易は衰退しても斷乎保持するものが賢明であるといふのがそれである。以上の如き見解と資本と輸送力の安全は武力の準備なしには効果がなからう。かくてアメリカが大海軍擴張政策を執つた所以である。(ダイヤモンド 八・二一)

#### △工業纖維類の世界生産状態

戦争は從來の供給國を遮絶したために、多くの諸國の纖維製造を促進することになつた。從來工業纖維の國內生産を殆んど考慮しなかつた諸國において莫大な生産設備擴張計畫が準備された。複雑な装置並びに機械類につき、その完全操業状態に至るまでには相當長期の建設期間とこれに次ぐ長期の試運轉期間を要する。従つて、新興工業國に顯著となつた纖維製造工場建設趨向が生産統計に現はれるのは相

當遅れるであらう。今日迄の推算によると、世界人絹ス・フ生産に對する戦争の影響の認められるのは主として交戦國における再編成である。

植物性纖維の輸送状態不安のため交戦國は何れも工業纖維の國內生産を可及的に強化増産しようとした。これが一部原料問題の難點に逢着したのはいふまでもない。すなはち、バルプ及びリントアは海上輸送する必要があるからである。原料供給難は當工業における現在原料手持高の夥多なためその影響の現はれるのは相當後のことである。

イギリスにおいては一九三九年初八箇月間の原料輸入は未だ阻害されなかつたので、事實上同年の入絹ス・フ生産を一層増大するを得、その生産難の現はれるのは一九四〇年になつてからであらう。ス・フ生産はイギリスでは二萬七二〇〇噸(前年度は一萬四四〇〇噸)に激増したが未だ重大な役割を勤めてゐない。これに反し、人絹生産高五萬四四〇〇噸(前年度四萬八三〇〇噸)は誠に注目し値するが、それでもドイツの生産高の略、半ばに過ぎない。

フランスではス・フ生産高七〇〇〇乃至九〇〇〇噸は前年に比し減産であり、人絹生産三萬五〇〇〇噸は國內需要を越え多少輸出をさへ考慮出来る。フランスの諸工場が戦禍に悩まされぬ限り、今後の生産はバルプ供給關係如何に左右されるであらう。蓋し、スカンデナヴィアよりのバルプ供給はドイツとの休戦後はドイツを通じて或ひはドイツ支配下の海路を通じて可能となるからである。同様、今日ではオ



ランダ人絹生産についてもスカンデナヴィア・バルブとの聯絡路が開放されてゐる。

四四

ドイツ及びイタリイは西歐諸國と異なり既に爲替資金難の過去數年間人絹及びス・フ工場の擴張のため、生産を原料バルブと歩調を合せるやうに、配慮せねばならなかつた。イタリイは木材缺乏に因りその血路を蘆草栽培及び麥稈蒐集に求めてこゝにその血路を見出した。ドイツはその森林保有並びに麥稈及び馬鈴薯莖の回收によつてバルブ生産用の豊富な原料準備を持つてゐる。この上、樞軸國家にはスカンデナヴィア・バルブ供給地との交通路が何等阻害されずに開放され、従つて何等原料缺乏を惧れる要がない。これら諸國においては今後の人絹及びス・フ増産を左右するものは専ら各國における生産能力擴充のテンポのみである。かくて一九三九年度樞軸諸國における工業纖維生産の増加は最大であつた。イタリイは既に過去數年に互つてその生産能力を組織的に擴張して來たので、一九三九年度の増産はもはやさほど飛躍的ではなかつた。イタリイの人絹ス・フ總生産高は一四萬噸を超え、このうち約八萬七〇〇噸すなはち約六〇%はス・フである(第一表参照)。ドイツはそのス・フ生産として既に今次戦争勃發前にその生産計畫を年産三〇萬噸餘に擴張した。これは急速な歩調で實現されようとし、この數量さへ或ひは超過されるかもしれない。既に一九三九年度について、五〇萬噸を下らぬ世界ス・フ總生産額の四〇%餘を占めたと豫想出来る。棉花に代つて特に優遇されてゐるス・フと並んでドイツはその人絹生産をも著しく増大せしめた。

第一表 アメリカ合衆國及びイタリイの工業纖維生産高 (單位千噸)

年次	一九三二	一九三三	一九三四	一九三五	一九三六	一九三七	一九三八	一九三九
アメリカ人絹	一九三二	一九三三	一九三四	一九三五	一九三六	一九三七	一九三八	一九三九
イタリイ人絹	六・二	九・六	九・三	一一・八	二二・九	一四五・九	一一六・八	約一五〇
イタリイ人絹	〇・五	一・〇	一・〇	一一・一	五・六	九・二	一三・六	二四・〇
イタリイ人絹	二八・〇	三三・三	三八・九	三八・九	三九・〇	四八・三	四六・〇	五四・〇
イタリイ人絹	四・五	五・〇	九・八	三〇・七	四九・九	七〇・九	七七・〇	八六・六

アメリカ合衆國もまた右表の示す如く一九三九年度人絹ス・フ生産高を著しく増加した。勿論、アメリカは棉花を保有し、天然纖維の對米流入に何等の制限をも設けてゐない。アメリカ合衆國のス・フ生産高は年産二萬四〇〇〇噸でイギリスと同様未だ重要な地位を占めてはゐない。従來、ス・フは日本及びイタリイ等より輸入されてゐた。將來について見るに勿論アメリカのス・フ生産増大が豫想される。人絹ではアメリカは一九三九年度でも年産一五萬噸餘で世界最高位を占めてゐる。たゞ一九三七年度は一時日本にその地位を譲つたことがあつた。人絹ス・フ自身の生産能力擴張の外にアメリカは纖維用バルブの著しい生産擴張を計畫してこれを實行し、リントーのみならずバルブをもアメリカは間もなく豊富に保有するに至るであらう。従つてアメリカ合衆國は北歐よりのバルブ供給から近いうちに獨立するに至るであらう。

日本では人絹工場は原料の點では殆んど全く、また製造品販賣の點ではその重要部分を外國に依存し

四五

てゐる。これから明かなやうに、日本の人絹生産は一九三七年には一五萬噸を超えて世界最高位に達したが、一九三八年には約九萬五〇〇〇噸に減少し、一九三九年には辛うじて一〇萬八〇〇〇噸に回復し得た。これとは反對の動きを示してゐるのが日本のス・フ生産である。一九三七年には四萬噸に達しなかつたが、一九三八年には一躍一七萬噸に増加し、一九三九年には再び約一四萬噸に減少した。人絹ス・フの生産において日本は何れも世界第二位を占めてゐる。

ドイツ、イタリ、アメリカ合衆國の三國の人絹ス・フ増産の結果、一九三九年度世界生産高は約一〇〇萬噸と未曾有の水準に達した。従つて一九三八年に對する増加率は再び一〇%に達した。第二表の示す如く、この生産高のうち人絹とス・フとは相ひ半ばする。五箇年前にはス・フの占める割合は未だ一〇%にも満たなかつた。工業繊維の疾風迅雷的増産は實に主としてス・フの増産による。従來、この増産を擔當してゐたのはドイツ、イタリ及び日本の三箇國である。工業繊維が全纖維供給に對し如何なる意義を持つかは棉花との比較が最も能く物語つてゐる。一九三八年度世界棉花收穫高六〇〇萬噸に對し工業纖維生産高一〇〇萬噸を、すなはち棉花の1/6に相當し、従つて競争者としてその意義を益々増大してゐる。相當長い將來を見るとき人絹ス・フと並んで完全な合成纖維が一層前面に現はれるに至るであらう。すなはち、その生産は天然原料バルブを使用せず、炭素化學の進歩の結果大化學工場で熟成されるのである。従來、この分野で特に活動して來たのはアメリカとドイツとである。

第二表 人絹及びス・フの世界生産高 (單位千噸)

年次	一九三二	一九三三	一九三四	一九三五	一九三六	一九三七	一九三八	一九三九
人絹ス・フ合	二五三	三二四	三九〇	四九〇	六〇〇	八二五	八八五	九九〇
人絹	二四三	三一	三六五	四二六	四六四	五四四	四五〇	五一〇
ス・フ	一〇	九六	九四	八七	七七	六六	五二	五二
ス・フ%	四	四	六	一三	一三	二八	四三	四八

(フランクフルター・ツァイトツング 七・二七)



週間經濟重要事項

- 八、二〇 閣議 今年度電力動員計畫決定。  
臨時米穀配給統制規則公布九月十日實施。  
ニッケル使用制限規則公布實施。
- 二一 商工省議で砂糖燐寸の法的切符制漸時全國的に實施決定。
- 二六 輕金屬獎勵金交付規則公布。  
大藏省十四年度國庫最終現計(廿八億六千九百餘万円發表)。